

2 緑と水の環境技術革命プロジェクト事業（拡充）

＜未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち（基幹）農山漁村に由来する資源の活用促進＞

【1,781（200）百万円】

対策のポイント

農林水産業・農山漁村に関連する豊富な資源と他産業の持つ革新的技術との融合により、農山漁村地域における新産業の創出に貢献します。

＜背景／課題＞

- ・ 農林水産業・農山漁村には、未利用のバイオマスや太陽光、水力などの再生可能エネルギーなど、国民生活に新たな恩恵を与え得る資源が多く存在。
- ・ 新たな技術を核に、これらの資源を活用した新産業を農山漁村に創出する「緑と水の環境技術革命」によって、農山漁村の6次産業化を推進し、「2020年までに農山漁村において6兆円規模の新産業を創出」するとの目標の実現に貢献するとともに、雇用と所得を確保することにより、地域社会の活性化を実現。

政策目標

2020年に6兆円規模の新産業の創出に貢献しうる新技術を実証、実用化ステージまで進展

＜主な内容＞

「緑と水の環境技術革命総合戦略」の重点分野に位置付けられた技術等について、以下の支援を実施します。

（1）事業化可能性調査

事業化につながる可能性のある技術シーズについて、採算性や技術課題等を調査・検討する事業化可能性調査を支援します。

（2）新技術の開発実証

事業化が見込まれる新技術について、実証機器の整備など試行・試作を支援するとともに、実用化に向けた技術実証の支援を行います。

＜事業実施主体＞ 民間団体等

＜補助率＞ （1）定額
（2）2／3、1／2

＜事業実施期間＞ 平成22年度～平成26年度

[お問い合わせ先：大臣官房環境バイオマス政策課（03-3502-8466（直））]

- 農林水産業・農山漁村の資源を活用する新たな技術の開発・導入を核とした新産業の育成により農山漁村の6次産業化を推進し、雇用と所得を確保することにより、地域社会の活性化を実現。
- 事業化につながる可能性のある新技術について採算性等を調べる事業化可能性調査や、事業化が見込まれる新技術についての試行・試作及び技術実証を支援。

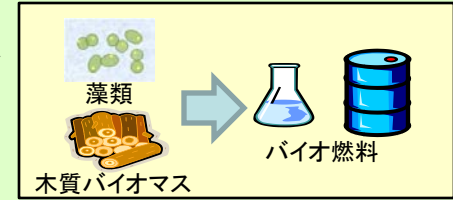
現 状

農林水産業・農山漁村には、
 ・未利用のバイオマス
 ・太陽光、水力などの再生
 可能エネルギー
 等、国民生活に新たな恩恵を
 与え得る資源が多く存在



課 題

潜在力を最大限活用し、
 ・低炭素社会の実現
 ・農山漁村の活性化
 を達成するために
新たな技術の開発・導入による新産業の育成が必要

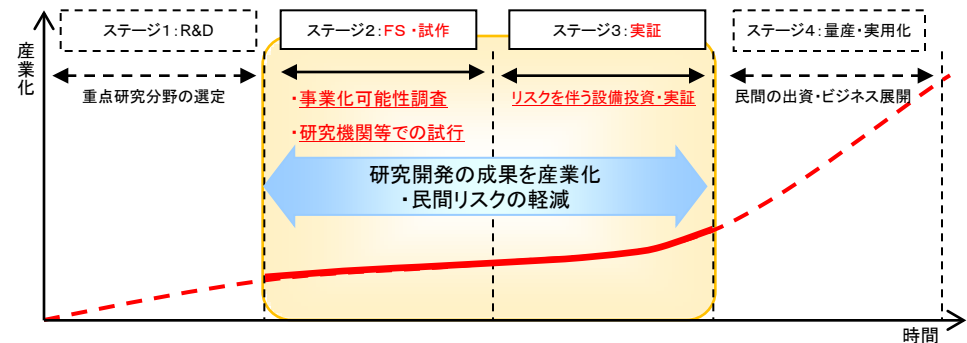


農林水産業・農山漁村の潜在力の発揮

「緑と水の環境技術革命総合戦略」に位置付けられた重点分野の新技術などに対し、採算性や技術課題等を検討する**事業化可能性調査や、試行・試作及び技術実証**を支援

研究開発から実証に進む過程を支援することにより、
新技術の実用化に向けた取組を推進

○ 支援対象ステージ



先端技術の活用による、農林水産業・農山漁村の潜在力の発揮

➡ 新産業の育成により農山漁村の6次産業化に寄与